

令和4年度 心を育む学校給食週間の取組み

◆実施校数:348校

学校給食を実施している小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校

◆実施内容

「おこない」づくり	しっかりした味覚を育て、おいしいものを見分ける力をもつ。
	望ましい食習慣と規則正しい生活習慣を身につける。
【取組の特徴】 地元の食材をふんだんに使った料理や昔から伝わる郷土料理、全国各地の料理や世界の料理等、魅力ある学校給食を味わったり、伝統野菜の栽培を通して、改めて山形の食のおいしさを実感したりする取組みが多かった。 他に、日常生活習慣(特に朝ごはん)や食事のマナー(姿勢・食べ方・箸の持ち方・食器の返し方等)について楽しみながら自己評価して日々の食生活を振り返る取組みや、給食とSDGsの視点から、マナーについて考え行動する取組みもみられた。	

～高畠町立和田小学校の取組みの様子～



「おこない」づくり(自己管理能力の育成)取組事例

学校名	中山町立豊田小学校
実施期間	令和5年1月16日(月)～1月20日(金)
【児童会活動】 ○「昔の給食調べ」 児童委員会の呼びかけで「昔の給食調べ」を実施し、上学年の児童が自分の選んだ給食を絵に描き、掲示した。タブレットで調べたり、父母や祖父母から聞いてきたりした児童もいた。メニューだけではなく、味や給食の様子を家庭で話題にした児童もいた。調べたものは「みんなに知らせたい」という思いがあったので、絵と感想などを書くカードを児童委員会で準備し、上学年全員で書いて掲示した。 ◎成果 明治から平成まで、様々な年代を選んで書いてあり、お互いの調べたものを見合っ、感想を伝え合うことができた。	

学校名	尾花沢市立常盤小学校
実施期間	令和4年12月8日(木)、令和5年1月13日(金)～1月19日(木)
【教科との連携】 ○4年生「ときわ大根」販売・レシピ配布 4年生は、ときわ大根栽培の体験や効能について調べた他、ときわ大根レシピを作り、その後、山辺高校食物科の高校生からリモートで、大根の特性を生かした調理手順や味のいかし方等アドバイスをもらい、ときわ大根レシピのリーフレットを作成した。栽培したときわ大根とレシピのリーフレットは、尾花沢市の祭りで販売・配布した。	

学校名	上山市立宮川中学校
実施期間	令和4年12月15日(木)～12月22日(木) 令和5年1月23日(月)～1月30日(月)
【委員会活動】 ○健康委員会主催「食育標語募集」 最優秀作品「地産地消 地域のために いただきます」 健康委員会主催で「食育標語募集」を行い、食育をより分かりやすく身近に感じてもらうため、農林水産省の「食育ピクトグラム」を掲示し、標語を作る際の参考とした。応募のあった作品は、健康委員会で選考を行い、優秀作品を表彰した。 ◎成果 食育ピクトグラムの活用により、食育の取組みを視覚化することができ、生徒たちにもわかりやすく伝えることができた。	

学校名	寒河江市立陵西中学校
実施期間	令和4年11月29日(火)～12月3日(土)
<p>【学校行事】</p> <p>○お弁当の日</p> <p>1年生は卵料理、2年生は炒め物、3年生は煮物を課題の一品として献立作成した。3日(土)の朝に、自分で立てた献立に基づき、昼食用の弁当を作り、学校に持参して食べた。各自の弁当を写真に撮り、計画報告書に添付し、各階の教室前に展示した。弁当作りでは、準備から保護者の協力を得ることができ、報告書にも作った弁当の感想を記入してもらうことで、家庭でも「食」を話題にする機会となった。</p> <p>◎成果</p> <p>調理のポイントや盛り付けのコツをプリントで提示したり、家族にアドバイスを受けたりとすることで、生徒は多くの情報を得ながら献立作成に取り組むことができた。生徒一人ひとりが作った弁当を写真に撮り、計画・振り返りシートに添付し、掲示したことにより、生徒の「食」への興味がさらに広がった。また、保護者からは「子どもと食について話ができる良い機会になっている」、「この活動をきっかけに、子どもが家で料理をつくる機会が増えた」、「ぜひ、毎年続けてほしい」等、温かいコメントもあり、家庭の協力も実感できた。学年課題があることで、レポーターが広がり、実践力の高まりが感じられた。</p>	

学校名	長井市立長井小学校
実施期間	令和4年12月5日(月)～12月9日(金)
<p>【講話】</p> <p>○全校朝会での栄養講話「給食とSDGs」</p> <p>栄養教諭と連携し、全校朝会で「給食とSDGs」をテーマに栄養講話を行い、調理や片付けにたくさんの水を使用していることを知り、水を大切にするために自分たちができること(食器をきれいにして返却すること、箸の向きをそろえて返却すること等)を考え、実践できるようにした。</p> <p>◎成果</p> <p>栄養教諭による講話のテーマを「給食とSDGs」とし、主に水に焦点を当てて調理場の仕事を紹介してもらった。その中で、調理や後片付けの過程でたくさんの水を使用していることを知り、大切な水を無駄遣いしないために自分たちができることを考えることができた。講話後は、ご飯粒を残さず食べたり、箸の向きをそろえて返したりする姿が以前より多く見られるようになった。</p>	

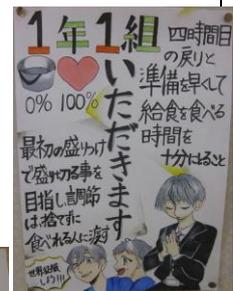
学校名	白鷹町立蚕桑小学校
実施期間	令和4年11月14日(月)～11月18日(金)
<p>【PTAとの連携】</p> <p>○おにぎりデー</p> <p>今年はPTAと連携した「おにぎりデー」が10周年の節目を迎え、母親委員会では「好きなおにぎりの具ランキング」を企画して、募集し、結果を掲示した。2年生では、はじめての「おにぎりデー」でおにぎりを作るための意義について学んだ。</p>	

学校名	飯豊町立手ノ子小学校
実施期間	令和5年1月23日(月)～1月27日(金)
<p>【講話】</p> <p>○栄養教諭からの講話</p> <p>一日に必要な野菜の量や加熱後の量などを模型で示してもらい、野菜の必要量のイメージをしっかりとらせることができた。</p> <p>○昼の放送</p> <p>地元の野菜は安く、おいしく、栄養満点であることだけでなく、コストや地球環境の点からもSDGsの取組みにつながることを紹介し、企業では様々な食品に関するSDGsの取組みが行われていることを紹介し、食品の廃棄やゴミの分別など身近な行動がSDGsの取組みにつながることを伝えた。</p> <p>【食育の充実】</p> <p>○「ベジタブルマッチ」</p> <p>「ベジタブルマッチ」の名称で、朝ごはんを食べてきた野菜にシールを貼っていく取組みを5日間行い、野菜に対する関心を高め、意識しながら朝食を食べる習慣づけを図った。最終日には、5日間に食べた野菜の1位から7位までの結果を発表した。1位人参、2位ほうれん草、3位もやしという結果になった。</p> <p>◎成果</p> <p>栄養教諭から、野菜の分類、一日に必要な野菜の量などを教えてもらい、バランスの良い食事や野菜が健康な体を作っていくことを学んだ。「ベジタブルマッチ」の取組みから、各家庭の食事の様子が見えてきた。子どもたちの取組結果を家庭にも知らせ、子どもたちがバランスの良い食事ができるよう啓蒙していきたい。</p>	

学校名	川西町立川西中学校
実施期間	令和4年11月28日(月)～12月2日(金)
<p>【食育の充実】</p> <p>○「自分で米を研ぎ、炊いたごはんを朝食べる。そのごはんを給食の主食として持ってくる、弁当の日」の実施(5日間)</p> <p>学校栄養士による事前指導として、弁当の日の実施方法や注意点の説明を行い、取組みに賛同していただいたJA様より生徒一人ひとりに新米を無償提供(300g×2)していただき、実施した。5日間の活動の反省と感想の記入及びJA様に感謝の手紙を送付した。</p> <p>◎成果</p> <p>今年度から初の試みである「お米を研ぐ・炊く・食べる・持ってくる」を実施し、食に関わる全ての人々への感謝の心を育むことができた。自分で米を研いで炊くという経験を機に、今後も習慣化したいという感想もみられた。</p>	

学校名	長井市立長井北中学校
実施期間	令和4年12月16日（金）～12月22日（木）
<p>【委員会活動】</p> <p>○「苦手な食べ物克服大作戦」</p> <p>苦手意識を持つ食材や、過去に苦手を克服したエピソードなどについてアンケートをとった。結果をもとに給食委員が、栄養素や豆知識、食べ方の工夫について調べ、スライドにまとめたり、放送で伝えたりすることで、食材に対する関心や、苦手へ向き合おうとする気持ちを高めることができた。</p>	
<p>◎成果</p> <p>「苦手な食べ物克服大作戦」と題したアンケートの実施と、結果をスライドにまとめた掲示物や給食の時間にオンラインで報告する活動を通して、食への興味・関心を深められた。</p>	

学校名	酒田市立東部中学校
実施期間	通年
<p>【委員会活動】</p> <p>○生活リズムを整える取組み（7月）</p> <p>「睡眠をしっかりとって運動会を全力でがんばろう！」をテーマに、睡眠動画を作成し、全校放映した。同時期に、健康委員が「運動会で力を発揮できる朝食レシピ」を掲示とおたよりで紹介した。</p>	
<p>○フードロス削減のための給食「すっから缶」の取組み（12月）</p> <p>食べ物の食べ残しがもたらす影響やどのくらいの食べ残しがあるのかを給食委員がパワーポイントで発表し、給食の食べ残しを減らすために自分たちのクラスではどのような工夫をしていくかを話し合い、ポスターにして掲示した。</p>	
<p>その後、2週間の期間を設け、「すっから缶」だったらサンタさんのソリにプレゼントのシールを貼っていく活動を行った。</p>	
<p>◎成果</p> <p>健康委員会で様々な取組みを発信することで、生徒の食への関心を更に高め、楽しみながら取り組むことができた。フードロス削減の取組みは、自分たちができることを話し合うことで、給食を残さず食べようという意識が生まれ、生徒だけでなく教員も給食に対して関心を高めるきっかけとなった。</p>	



学校名	県立米沢工業高等学校（定時制）
実施期間	令和4年11月7日（月）～11月11日（金）
<p>【委員会活動】</p> <p>○保健給食委員会だより</p> <p>これまでの朝食の欠食や給食の残食についての調査結果等に基づき、食事に関する記事も記載しながら、朝食欠食の常態化が身体や心に与える悪影響について普及啓発活動を行った。</p>	

学校名	県立山形養護学校
実施期間	令和4年12月5日（月）～12月9日（金）
<p>【食育の充実】</p> <p>○朝食を食べる大切さ「朝食カード」</p> <p>心を育む学校給食週間を実施したクリスマスの季節に合わせ、クリスマスツリーのカードと、赤・黄・緑の星形シールを配付した。朝食で摂取した食品のグループの色のシールをツリーに貼り、毎日朝食を食べているか、バランスよく食べられているか、足りないグループはないかをチェックした。</p> <p>◎成果</p> <p>楽しみながら、朝食の状況を可視化することで、児童生徒自身の食事を振り返ることができた。朝食の状況を知ることで、家庭で話題にしたり、学校の調理学習でも食材の栄養バランスについて理解を深めたりするきっかけになった。</p>	